

日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるものです。また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

Japan Plywood Wholesalers Association e-mail: jpwa@oboe.ocn.ne.jp  
発行所: 日本合板商業組合 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-4 TEL 03 (5256) 9080

日合商HP  
<https://www.nichigoshu.net/>



## 年頭所感



日本合板商業組合  
理事長 足立 建一郎

新年明けましておめでとうございます。  
組合員の皆様、賛助会員の皆様、本年も宜しく  
お願い申し上げます。

さて、昨年の世界情勢は、米国による関税引き  
上げの影響が危惧されましたが、各国・地域と  
の協定により部分的に緩和され、底堅い成長を維  
持しました。然しながら政策への不確実性が払拭  
されず、懸念を残す状況は続いています。国内  
に目を向けると、10月に高市政権が発足し、新  
政権への期待を受け株価は過去最高値を更新しま  
した。なお、新政権発足前の7月～9月の実質  
GDP成長率は、米国による関税政策の影響によ  
る輸出減や民間による住宅投資の減少が影響し、  
前期比-0.4%と6四半期ぶりのマイナス成長とな  
りましたが、個人消費と設備投資は増加基調にあ  
ります。今後は、高市政権が掲げた積極財政路線  
による、日本経済の復活が期待されます。

業界環境として昨年の国内住宅需要は、住宅価  
格の高止まり状態が続き、加えて4月以降は建築  
基準法等の法改正に伴う駆け込み需要の反動減並

びに建築確認遅延等の影響により、新設住宅着工  
戸数は10月単月では前年実績を上回ったものの、  
1月から10月までの累計は前年比93.2%、中  
でも持家は前年比91.9%と厳しい状況が続きま  
した。また、国内の合板需要は、新設住宅着工の低  
迷により盛り上りに欠けましたが、国産合板は  
メーカー主導による生産調整の継続や価格堅持の  
動きにより、需給バランスは保たれました。一方、  
輸入合板は現地生産コストの上昇や円安傾向が進  
み、製品価格は上昇傾向にあることから積極的な  
手当では行われず、需要を見極めながらの発注が  
続いています。今後も、国産合板・輸入合板共に  
需要に見合った供給が望まれます。

本年1月1日には「中小受託取引適正化法」  
が施行されました。過去からの商慣習を見直し、  
取引先との健全な取引を行う為にも業界全体で取  
り組む重要課題になります。一方、住宅行政にお  
いては、2050年カーボンニュートラルの実現に  
向け、建築物の省エネルギー性能の向上や、建築  
物への木材利用の展開が推し進められています。

このような環境のなか、日合商は合板をはじめ

とする建材需要の安定化や合法伐採木材等の普  
及・利用拡大に努めてまいりました。昨年は、改  
正クリーンウッド法が施行され、合法伐採木材へ  
の取組が更に前進しました。カーボンニュート  
ラルの実現に向け、住宅省エネ化への取り組みは勿  
論のこと、森林資源の再生による環境保全に向け  
て合法伐採木材等への更なる取り組みを進めてま  
います。また、国の施策に基づいた研修会等を  
各支部と共同で実施し、会員企業の基盤強化に向  
けた取り組みを進めてまいります。

日合商の会勢強化につきましては、合法伐採木  
材の供給事業者認定取得のための新規加入があ  
る一方、事業撤廃や合併等による退会により、組  
員数は715社(2025年11月末日)となってい  
ます。引き続き、組合員・準会員・賛助会員の皆  
様のご協力を仰ぎ、会勢強化への取り組みにむ  
けて邁進していく所存です。

本年も、会員相互の「協調と連携」のもと、会  
員の皆様の事業拡大と強化に貢献し、共に成果を  
手に入れる年となることを祈念し、年頭のご挨拶  
とさせていただきます。



GEO × LIVE  
地球 × 生きる



# GEOLIVE

次の生き方をつくろう。



## 2025年度 日合商第三回理事会 並びに 第二回合板需給懇談会 開催のご案内

開催日時：2026年3月26日（木）

- ◆日合商第三回理事会 13：30～14：30
- ◆第二回合板需給懇談会 14：45～16：45
- ◆懇親会 17：00～18：30

会 場：LEVEL XXI 東京會館

★詳細については、改めてご案内します。

理事・監事におかれましては、万障お繰り合わせの  
うえ、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

## 2026年 日合商各支部 新年会 2月のスケジュール

日程	支部	会場
2月10日（火）	四国支部 臨時総会・新年会	ホテルマイステイズ松山
2月18日（水）	神奈川支部 新年会 ※2月20日（金）から変更になりました。	崎陽軒本店

## 日合商 WEB セミナーのご案内

※詳細については、各支部事務局より後日ご案内いたします。

### 第4回 定期セミナー 2月19日（木）YouTube 配信 14：00～15：30

テーマ：「2026年の住宅市場展望と高齢化時代の住宅戦略」

～法改正だけでは読めないこれからの方向性～

講 師：清水英雄事務所株式会社 代表取締役社長 清水大悟 氏

### 第2回 特別セミナー 3月12日（木）YouTube 配信 14：00～15：30

テーマ：「林業・木材産業における適正取引の推進」と「物流効率化法への取組」について

講 師：林野庁 林政部 木材産業課 木材専門官 尾近 茂 氏

## 木の総合文化（ウッドレガシー）を 推進する議員連盟へ 日合商から要望4項目を提出

木の総合文化（ウッドレガシー）を推進する議員連盟（会長：坂本哲史衆議院議員）との「民政官合同会議・第9回要望活動発表会」が12月11日（木）に開催され、日合商から4項目の要望書を提出しました。

- ・住宅ローン減税に関し、期限の延長と拡充
- ・住宅取得に係る初期の税負担軽減に向けた税制の見直し
- ・住宅・建築物の耐震改修支援策について、建築年要件の見直しによる支援の拡充並びに税制優遇措置の延長
- ・カーボンニュートラルの更なる推進を図るためにも、合法伐採木材使用拡大に向けた施策の実施

## 2025年度

## 合法木材・持続可能木材の供給認定事業者研修会 2月のスケジュール

第1部「合法木材認定事業者研修会」 講師：日本合板商業組合 本部事務局

第2部「改正 CW 法の概要と登録制度」 講師：公益財団法人 日本合板検査会 横山 潤氏

日程	支部	会場
2月3日（火）	中国（山陽地区）	TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅北口
2月24日（火）	中国（山陰地区）	サンラポーむらくも



高度な加工技術  
細部へのこだわりと  
卓越した職人の加工技術力

## 木と共に、未来を創る

私たちは、木材への深い理解と卓越した加工技術で、木の魅力を最大限に引き出す製品作りに真摯に取り組んでいます。

 住友林業クレスト株式会社



<https://www.sumirin-crest.co.jp>

TOTO

変わる Change  
健康アドバイスを活用できる

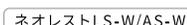
使う Use  
カンタン操作で無理なく続けられる

気づく Notice  
アプリで記録を見ることができる

トイレ行くだけ健康習慣

NEOREST  
LS-W / AS-W

本商品は、スマホ専用アプリを利用します

便スキャン 

便スキャンセンサーで落下中の便をスキャンし、便の形（硬さ）・色・量を自動で計測します。

DAILY WELLNESS  
ネオレストLS-W/AS-W  
商品ページ



日合商ホームページ

トピックスより抜粋

<https://www.nichigoshu.net/topics/>



2025.12.24 官公庁からのお知らせ

**【林野庁】広葉樹利活用に関する意識調査及び里山広葉樹利活用推進シンポジウムのご案内について**（周知等ご協力をお願い）  
林野庁では、広葉樹利活用に向けた取組を行っており、アンケート調査ご協力をお願いとシンポジウムのご案内をいたします。

2025.12.15 官公庁からのお知らせ

**【お知らせ】「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」**  
林野庁 HP に「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」12月号が公表されました。12月号では、ウッドデザイン賞2025 上位賞受賞作品決定や、中小受託取引適正化法（取適法）の施行などについて特集しています。

2025.12.08 官公庁からのお知らせ

**「みらいエコ住宅 2026 事業」概要のお知らせ**  
住宅の省エネ化への支援強化に関する予算案が閣議決定され、国土交通省・経済産業省・環境省が連携し、省エネ住宅の新築、住宅の省エネリフォームを支援する「みらいエコ住宅 2026 事業」が創設され、その概要が国土交通省 HP で公開されました。

2025.12.02 官公庁からのお知らせ

**【林野庁】【情報共有】重点支援地方交付金を活用した支援策及びパンフレットを更新。**  
中小企業・小規模事業者の賃上げを一層後押しするため、今般の経済対策を踏まえ、地方自治体でご活用いただける「重点支援地方交付金の拡充」及び「推奨事業メニューの追加」を行いました。また、併せて、賃上げ・最低賃金対応支援に関するパンフレットも最新の内容に更新しています。

2025.12.02 官公庁からのお知らせ

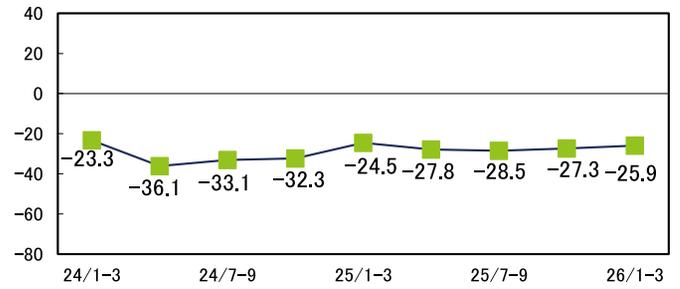
**【林野庁】【共有】（公正取引委員会）中小受託取引適正化法テキストの公開等について**  
取引適正化法に関する解釈や違法行為事例、参考資料等を取りまとめた「中小受託取引適正化法テキスト」が、公正取引委員会 HP にて新たに掲載されました。

JK 情報センター

需要動向予測調査 2026年 1月～3月（抜粋）

販売店様による景気動向の推移

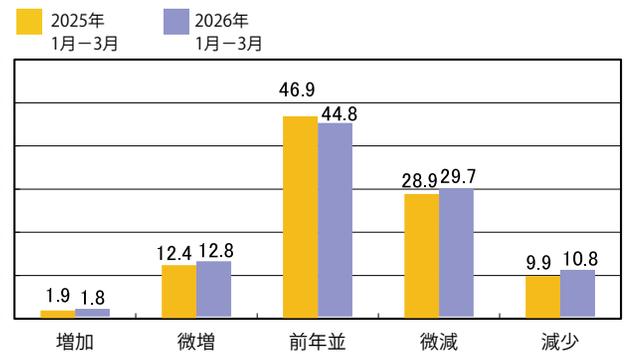
過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。



販売店様による地域別需要予測

全 国 回答数 2,929

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中から  
お選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。  
単位は、「%」となります。



更にパワーアップ!

福利厚生サービスの向上を図る

福利厚生制度「損害保険 / 集団扱制度」ご紹介!

2024年度よりスタートした福利厚生制度「損害保険 / 集団扱制度」に新たに「労災あんしん保険〈業務災害総合保険〉」が加わりました!

労災あんしん保険では事業者の皆さまの従業員の業務上のケガや病気のほか、労災事故等により企業が負う損害賠償リスクを補償でき、会員の皆さまを取り巻く労災リスクをまとめてカバーします!

お問合せ  
日新火災海上保険㈱  
マーケット開発部  
戦略マーケットグループ  
宮原広樹まで  
TEL : 03-6705-2436  
FAX : 03-5619-0065



WOODONE

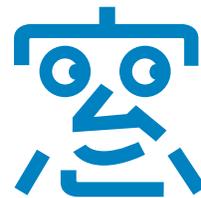
無垢フローリング | 国産材シリーズ  
コンビット®ソリッドJ



にほんで育った松をつかった無垢の床材です

株式会社 ウッドワン

本社 広島県廿日市市木材港南1-1 <https://www.woodone.co.jp>



を考える会社



YKK AP 株式会社

<https://www.ykkap.co.jp/>

# 2025年度 第3回合板需給検討委員会

2025年12月8日(月)の検討結果

日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商業組合による「2025年度第3回合板需給検討委員会」を林野庁木材利用課ご臨席のもと、合板会館(日合商会議室)において開催。木材行政推進のための情報として林野庁に提供した合板の短期需給見通しの検討結果です。

## 合板 短期需給見通し

(Unit : 1,000m<sup>3</sup>)

		供給			需要(出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2025(R7)7-9	前回予測	(1,156)	(630)	(526)	(1,140)	(620)	(520)	(975.950)	(137.269)	(838.681)
	実績	1,134.966	614.080	520.886	1,147.075	612.562	534.513	947.841	128.787	819.054
10-12	前回予測	(1,155)	(650)	(505)	(1,170)	(640)	(530)	(960.950)	(147.269)	(813.681)
	見込み	1,145.673	640.000	505.673	1,200.000	660.000	540.000	893.514	108.787	784.727
	計	4,617.343	2,558.458	2,058.885	4,677.897	2,565.349	2,112.548			
2026(R8)1-3	前回予測	(1,135)	(630)	(505)	(1,160)	(630)	(530)	(935.950)	(147.269)	(788.681)
	見通し	1,137.000	630.000	507.000	1,150.000	630.000	520.000	880.514	108.787	771.727
	4-6	1,150.000	630.000	520.000	1,180.000	650.000	530.000	850.514	88.787	761.727

### 国産合板の需要

#### 1. 令和7年第3四半期の実績について

(実績数量の背景、前年同期との比較等) 今回 (613千m<sup>3</sup>)

住宅価格の高騰に加え、駆け込み需要の反動や確認申請遅延等の影響で、第2四半期の新設住宅着工戸数は大幅に減少し、市況回復のタイミングが見えにくく、需要側は当用買いを継続。一方、供給側は、希望価格までは届かないものの値上げを継続し、以前のような価格の下落は払拭されている。昨年供給側からは値上げのアナウンスはあったが、実需の乏しさから希望価格は通らず、値下げの状況に陥り需要側は当用買いを徹底。今期の住宅着工数は前年を下回るものの、値上げのアナウンスが続いていることもあり前年と同水準の需要となる。

#### 2. 令和7年第4四半期の見込みについて

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等) 今回 (660千m<sup>3</sup>)

本格的な需要回復とまではいかないものの、確認申請遅延も解消しつつあり、また賃貸住宅や非住宅の引き合いが増加。なお、価格は値上げの方針には変わりはないが、一部では安価が散見され、需要側は当用買いを継続。なお、供給側の生産調整により一部では欠品が発生し、また配送トラックの手配難により、納期に時間を要する状況。前年は、価格が軟調で推移している中、9月以降木造住宅の着工戸数が増加傾向にあり需要は上向いた。今期の合板需要に影響を及ぼす7月~9月の木造住宅着工戸数は前年同期を下回る(94.2%)ことから、合板の需要量も同程度推移すると見込む。よって、前年同期比95.1%の見込み。

#### 3. 令和8年第1四半期の見通しについて

(見通し作成の根拠) 今回 (630千m<sup>3</sup>)

確認申請遅延の影響は解消される見通しだが、遅れていた物件の着工が回復する程度で、住宅着工が大きく伸びる要因は少ない状況と見込まれる。また、住宅価格の高騰により更に平屋住宅が増え、それに伴い床面積も減少傾向にある。前年は法改正の前の駆け込み需要により着工増となったが、今期は着工増に繋がる特別な要因が見られないことから前年実績を下回る需要となる見通し。

(前年同期との差異について)

結果、前年同期比97.4%の見通し

#### 4. 令和8年第2四半期の見通しについて

(見通し作成の根拠) 今回 (650千m<sup>3</sup>)

前年は、法改正の影響で新設住宅着工戸数は大幅に減少したが、今期は前年を上回る着工数になると予測。また、供給側の生産調整や価格堅持が継続されれば、在庫量が減少し市況は引き締め、需要側では在庫補充に向けて動きも出てくると予想される。供給側の体制に大きく依存することになるが、前年同期・前期を上回る需要となる見通し。

(前年同期との差異について)

結果、前年同期比100.6%の見通し

### 輸入合板の需要

#### 1. 令和7年第3四半期の実績について

(実績数量の背景、前年同期との比較等) 今回 (535千m<sup>3</sup>)

市況の低迷に加え、現地生産コストの上昇及び円安傾向により、輸入商社は積極的な手当ては行わず、入荷量は前年同期比▲3.4%となるが、需要も振るわず9月末の港湾倉庫の在庫量は高水準となる。総じて在庫の不足感はないものの、一部の製品では品薄感があることから、需要側では今後の価格上昇を見据え現物在庫の仕入れを行う動きが発生。結果、前年同期比と同水準の99%の実績となる。

#### 2. 令和7年第4四半期の見込みについて

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等) 今回 (540千m<sup>3</sup>)

原木不足や現地生産コストの上昇及び円安の影響により契約価格は上昇。港頭在庫は当初の予想に反し高水準で推移しているが、輸入商社が積極的に手当てを行っていないことから、在庫アイテムには偏りが生じている。なお、値上げ前の在庫が消化され、需要側は値上げを受け入れつつある状況。前年は、今期に比べて総じて港頭在庫量は少なく、また価格は弱含みで推移していた中、国内合板の値上げに同調し徐々に値戻しは進む。今期は市況の低迷感も拭えないものの、更に円安傾向となり先行き価格の上昇を見据え、現物在庫確保に向けた動きが多くなると予測し、前年同期同水準の100.2%と見込む。

#### 3. 令和8年第1四半期の見通しについて

(見通し作成の根拠) 今回 (520千m<sup>3</sup>)

前期と同様に、輸入商社は積極的な手当てができず、港頭在庫は減少傾向になると予測。その結果、品薄や欠品製品が発生し、当該製品を中心に値戻しは進むが、欠品などが生じても他製品での代用等により現場が逼迫するには至らない状況は続くと思われ。需要側は値戻しを容認し当用買いを継続する一方、先々の物件を抱えている需要側を中心に、現物在庫確保に向けた動きが出ると予想されることから、前期は下回るもの、前年同期を上回る需要となる見通し。

(前年同期との差異について)

結果、前年同期比102.6%の見通し

#### 4. 令和8年第2四半期の見通しについて

(見通し作成の根拠) 今回 (530千m<sup>3</sup>)

前期同様新規発注は抑えられると予測。また、サラワク州の認証取得の影響による原木出材量の減少やそれに伴う工場の停止等も予想され、コストUPの要因があることから、価格の上昇は更に進む可能性がある。昨年は急激な円安により価格は上昇基調にあったが、国内市況が低迷し値上げは緩やかな状況。今期は更なる値上げが予測されるが、首都圏近郊の大型開発物件が本格的に動き出すのは2027年以降という情報もことから、需要側は前年同様に当用買いを継続すると予想。但し、住宅着工数は前年を上回ると予測されることから、前年同期と同水準になる見通し。

(前年同期との差異について)

結果、前年同期比99.8%の見通し



セイホクグループは  
年間700万m<sup>3</sup>の国産材を活用(HWP)し  
合板の炭素貯蔵力で地球の未来を笑顔にします

# 700!

セイホク株式会社 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)1031 FAX:03(3814)8299  
 宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867  
 西北プライウッド株式会社 宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867  
 秋田プライウッド株式会社 秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)8511 FAX:018(862)1513  
 新秋木工業株式会社 秋田県秋田市向浜1-8-2 TEL:018(823)7265 FAX:018(864)8397  
 ホクオープライウッド株式会社 岩手県宮古市磯崎2-3-1 TEL:0193(62)3333 FAX:0193(63)3664  
 株式会社カリヤ 岩手県宮古市刈屋13-11-2 TEL:0193(72)2255 FAX:0193(72)3107  
 北上プライウッド株式会社 岩手県北上市和賀町後藤2-112-1 TEL:0197(73)5500 FAX:0197(73)5505  
 森の合板協同組合 岐阜県中津川市加子母5371-17 TEL:0573(79)5120 FAX:0573(79)5121  
 松江エヌエル工業株式会社 島根県松江市八束町江島1376-2 TEL:0852(76)3730 FAX:0852(76)3900  
 新栄合板工業株式会社 熊本県水俣市袋赤海岸50 TEL:0966(63)2141 FAX:0966(63)2145  
 ファミリーボード株式会社 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)3366 FAX:03(3816)3699  
 アイプライ株式会社 秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)0511 FAX:018(863)8452

<https://www.seihoku.gr.jp/> <https://www.aplywood.co.jp/>



ライトモタル柄



約300mm幅のワイドサイズ  
床暖房対応の直貼り遮音フローリング

幅広サイズでモチーフとなる素材の表情を余すところなく表現しました。  
新築マンション、リフォーム、リノベーションに最適です。  
また、トレンド感ある異素材ミックスコーディネートが可能です。

永大産業株式会社 [www.eidai.com](http://www.eidai.com) お客様相談センター 0120-685-110 受付時間 平日 9:00~17:00 休業日 土曜日、日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始



## 合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部  
東京都ベニヤ板問屋協同組合  
新風会 猪爪 清和

### 概要

2025年10月の新設住宅着工戸数は71,871戸（前年同月比3.2%増）で7カ月ぶりの増加となった。その内、木造住宅は40,597戸（前年同月比2.8%減）で7カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は80.3万戸で前月比10.2%増、2カ月連続の増加となる。

利用関係別では、持家が18,081戸（前年同月比8.2%減）で7カ月連続の減少、貸家は30,771戸（同比4.2%増）で7カ月ぶりの増加、分譲住宅は22,480戸（同比14.8%増）で7カ月ぶりの増加となった。分譲の内訳はマンションが11,650戸（同比31.8%増）7カ月ぶりの増加、戸建ては10,564戸（同比0.5%増）と7カ月ぶりの増加となった。

持家が減少したが、貸家、分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比3.2%の増加となった。

### 国内・外合板の供給量

10月の国内合板生産量は22.4万㎡（前月比106.0%、前年同月比99.6%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は22.2万㎡（同比105.4%、99.8%）となり、出荷量は23.0万㎡（同比108.5%、101.2%）で在庫量は18.3万㎡となった。

輸入合板の10月度入荷量は17.7万㎡（前月比100.1%、前年同月比100.2%）となった。国別入荷量は、マレーシアが4.6万㎡、インドネシアが6.0万㎡、中国が3.9万㎡、ベトナムが3.0万㎡となっている。

### 今後の見通し

輸入合板は、当用買いが継続しているものの、港頭在庫は若干減少に転じており、出荷は堅調に推移している。輸入業者が感じているよりも、実際の荷動きは悪くもないように思われる。一方で荷役作業やコンテナのデバン作業時間が掛かっている点には改善が見られず、大幅に時間を要す状況は変わっていない。現状、為替変動分の販売価格への転嫁が遅れている点が見受けられるので、欠品アイテムから価格が調整されてくると思われる。その点を踏まえたうえで手当てを進めていただきたい。

国内の針葉樹合板は、荷動きに多少の回復が見られ、直需関係でも仕事量が増えつつある。しかし実際には、川下からの価格面での揺さぶりもあり、依然として安値販売が散見される状況だ。価格が安定しないことから、市場では当用買いが徹底され、短納期での発注が増加している。一方、配車が厳しくなっているため、本来は早めの発注を心掛けたいところである。

今後の需要回復に向けては、メーカー各社の対応に期待したい。

国内合板、輸入合板で居所の違う状況が続くと思われる。

## 【グリーン購入法】に基づき

### 事業者新認定・期限更新した6社

2025年12月末現在

北海道	-0017-⑥	(株)テーオーフォレスト	代表取締役	小笠原 翔大
関東	-0033-④	(株)内田	代表取締役社長	滑川 克俊
東京・静岡	-0228-③	和竹建材(株)	代表取締役	和田 昌之
東京S	-0008-⑤	(株)キーテック	代表取締役	中西 宏一
中国・山陰	-0055-⑤	(株)イタケン	代表取締役	中尾 静二
九州	-0029-⑥	竹林商事(株)	代表取締役	竹林 隆広

## 懇親ゴルフ会を開催し、親睦を深めました

12月3日（水）

### 中部日本支部

緑ヶ丘カンツリークラブにて  
19名参加

【成績TOP5】(敬称略)

- 優勝 櫻井 雅規
- 準優勝 黒瀧 雄一郎
- 3位 岡田 尊志
- 4位 吉田 達弘
- 5位 平田 富太郎



## 東京の合板卸売り価格 (円)

※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より  
(注) 1車単位 (10トン) 問屋売り価格・90日手形 (JAS製品)

品目	12月3日	前週比	12月10日	前週比	12月17日	前週比
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	920	0	920	0	920
	4.0mm //	1,200	0	1,200	0	1,200
	5.5mm //	1,380	0	1,380	0	1,380
	9.0mm //	2,000	0	2,000	0	2,000
	12.0mm //	2,550	0	2,550	0	2,550
針葉樹 構造用	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,500	0	1,500	0	1,500
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	3,400	0	3,400	0	3,400
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	4,150	0	4,150	0	4,150
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	2,500	0	2,500	0	2,500
輸入・型枠用	12mm JAS製品	1,910	0	1,910	0	1,910
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS製品	1,960	0	1,960	0	1,960

# 住まうを、 笑顔に。

一軒の住まいには、どれだけの人々の想いが込められているのだろう。  
快適で豊かな暮らしを夢見る人の想い。  
その想いに応えたい人々のたくさんの想い。  
住まう人の夢を設計や施工で形にしたい人。  
質の高い建材や資材、サービスを届けたい人。  
より良質な資材を製造したい人。新しい建材の可能性を生み出したい人。  
木を育て、豊かな森林資源の循環をつくりたい人。  
住まいは、住まう人を想うたくさんの人の情熱でできている。  
私たちは、そのすべてを支え、つなぐ仕事をしています。  
だからこそ、目の前にあるひとつひとつの役割に、  
理想と夢を持って日々挑戦していきたい。  
たくさんの人の想いをつなげて、日本中にひろげていきたい。  
そして、住まう人と、関わるすべての人が笑顔になる  
素敵な住環境をつくっていききたい。  
笑顔がつながる未来へと、私たちの仕事は続きます。



www.jkhd.co.jp

## JKホールディングス株式会社

東京都江東区新木場 1-7-22 TEL : 03-5534-3800